保護者等向け　児童発達支援評価表

公表日：

事業所名：児童発達支援　Rasisa

対象人数（保護者）21人　回答者数 20人　回収 95.2%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21				かけっこしている様子を見たことがあるのですが、子供たちはのびのびと遊んでいる様に感じました。十分なスペースが確保されていると思います。	安全面に配慮しながら、子どもたちがのびのびと身体を動かせる環境づくりを継続してまいります。今後も活動内容に応じて空間の使い方を工夫し、安心して過ごせる環境整備に努めてまいります。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	21				本人の発達状況がかなり遅く、大人が一人付きっ切りになってしまいます。その他の施設では、このことが原因で迷惑をかけているのではないか？と心配になるのですが、Rasisaではその心配が無く、保護者も安心して預けられる施設だと思います。	お子さま一人ひとりの特性や状況に応じ、安心して過ごせるよう職員配置や支援体制の工夫を今後も継続してまいります。保護者の皆様にも安心してご利用いただけるよう、丁寧な支援を心掛けてまいります。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21				建物の1Fに事業所があります。事業所内も、大きな段差もなく、誰でも利用しやすい構造や設備配置となってると思います。	今後もお子さまにとって分かりやすく、安心して利用できる環境づくりを継続してまいります。安全面や視覚的な分かりやすさにも配慮しながら、必要に応じて環境調整を行ってまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21				日当たりもよく、フワフワで大きなクッションがあったりと、子供にとって居心地のよさそうな空間だと感じています。利用中の本人の表情もとても穏やかで、リラックスできていると感じています。	引き続き清潔で安心できる環境維持に努めるとともに、お子さまがリラックスしながら活動できる空間づくりを大切にしてまいります。
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21				元々内気な部分もあり、利用前は自分の意見などを伝える事自体も懸念していたのがうちの子ですが…職員の方一人一人の方が丁寧に接してくれているお陰か苦手意識を徐々に緩和して安心して子ども自身から意見を伝える事が出来る環境を整えてくださってるかと思います 多くの先生が、保育士をはじめとした資格を複数取得されており、様々な専門性を有していると感じます。	温かいお言葉ありがとうございます。今後も職員研修や情報共有を通して専門性の向上に努め、お子さま一人ひとりに合わせた支援を継続してまいります。
	⑥	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	21					
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	21				不明な部分は聞いてくださいますし、なにより日頃から子供をよく観察し、反応を見てくださっています。そのうえで計画を立ててくださっています。	今後も日々のお子さまの様子や保護者の皆様のお話を丁寧に伺いながら、実態に即した支援計画の作成・見直しに努めてまいります。
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21					
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21				些細な事でも共有しやすいので、こちらも支援を受けやすいかと思います	引き続き保護者の皆様と情報共有を大切にしながら、お子さまの成長につながる支援を継続してまいります。
	⑩	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21					
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	18	1	1	1	たぶん他の子どもとの交流は無かった気がします。活動記録を見落としていたらすみません。	現状、事業所内活動が中心となっておりますが、今後は地域とのつながりや交流の機会についても、子どもたちの特性や安全面に配慮しながら検討してまいります。
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					
	⑬	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1		3		保護者の皆様への情報提供や相談支援を継続するとともに、今後は保護者参加型の取り組みや学びの機会についても検討してまいります。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21					
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21					
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21				決して否定されない事、かと言って共感だけでなく共感と共にアドバイスもいただける為困った時や集団生活にあるトラブルなどあった時も相談しやすいです	今後も保護者の皆様のお気持ちに寄り添いながら、安心して相談できる関係づくりを大切にしてまいります。また、必要に応じて具体的な助言や情報提供も行ってまいります。
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	2				今後も保護者同士がつながれる機会づくりを大切にしながら、交流しやすい場の設定や情報共有の工夫を検討してまいります。
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21					
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21				LINEを開設してくださっているので、気軽にいつでもやり取りが出来ます。とてもありがたいです。Rasisaからのアナウンスも、とてもスムーズにやりとりが出来ています。	今後もLINE等を活用し、迅速かつ丁寧な情報共有を継続してまいります。保護者の皆様が相談しやすい体制づくりに努めてまいります。
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	2		2		ホームページやSNS等を通じて、事業所の活動内容や取り組みをより分かりやすく発信できるよう努めてまいります。
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21				本人はもちろん、訪問支援先に通っている他の園児への配慮もあり、とても細やかな気遣いをされていると感じています。	
非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			3		各種マニュアルの整備や避難訓練を継続するとともに、保護者の皆様にもより分かりやすく周知できるよう情報発信を工夫してまいります。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			3		各種マニュアルの整備や避難訓練を継続するとともに、保護者の皆様にもより分かりやすく周知できるよう情報発信を工夫してまいります。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21					
	㉖	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			2		事故や怪我等が発生した際には、今後も迅速かつ丁寧な情報共有と説明を行い、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	20			1	本人は、言語遅延があり、話す事ができません。しかし、事業所からの報告に添付されている動画や、写真に写っている姿が、とても楽しそうに笑っているので、安心しているんだなと感じています。また、先生方にも心を開いているように思います。	温かいお言葉をいただきありがとうございます。今後もお子さまが「楽しい」「安心できる」と感じられる場所であるよう努めるとともに、保護者の皆様にとっても安心して相談できる事業所を目指してまいります。
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21				非常に楽しみにしています 苦手な部分を苦にし続けなくなったこと、楽しみながら行っている姿がとてもわかります 職員の方に会う事、そこで何をする、した等一生懸命伝えてくれる姿が多々見られこちらも嬉しくなります 本人に「明日はRasisaの日だよ」と伝えると、ニコニコしてくれます。まだ言葉にはできませんが、楽しみにしているんだなと感じます。	温かいお言葉をいただきありがとうございます。今後もお子さまが「楽しい」「安心できる」と感じられる場所であるよう努めるとともに、保護者の皆様にとっても安心して相談できる事業所を目指してまいります。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	20			1	大満足です。子供だけではなく、保護者へのお気遣いも頂いています。発達の遅れがある子供がいると、「保育園に迷惑をかけていないか？」「発達について、様子見でいいのか、それとも早急に対応した方がいいのかの判断」など、様々な不安を抱いておりました。しかし、Rasisaを利用してからは、「何か困った事があったら相談出来る場所」として、不安が軽減されました。	温かいお言葉をいただきありがとうございます。今後もお子さまが「楽しい」「安心できる」と感じられる場所であるよう努めるとともに、保護者の皆様にとっても安心して相談できる事業所を目指してまいります。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	Rasisa

公表日 2025　年　6　月　1　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	視覚的な表示などが必要に応じて設置されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	活動により大部屋、小部屋を使い分けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	6	0	子どもの状況に応じ個別の部屋を利用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		療育の振り返り等の時間はあるが、事務時間の捻出のためにそこが短くなるときあり。事務時間の改善
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援の提	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	6	0		
	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・パート職員も含めてオープンに考え話し合えるのがよい。	
	12	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	13	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	14	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	15	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・地域支援に関してはもう少し具体的な支援策を考えていく必要性を感じる。（こそだて相談会の開催など）	
	16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		

供	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	年度開始の４月などは活動プログラムを固定する必要もある。そのような時は皆で話し合い決定している。	
	18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・確認し合うことは自然とできている	・時間や日によって打ち合わせ時間の確保というものが曖昧。 ・しっかりと時間を確保した形での『朝礼』等の必要性を感じる。
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6	0	・子どもの様子、対応についての振り返りはとても盛んにおこなわれている。 ・我が施設が一番重点をおいていると思う。	
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	22	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	子どもの状況に応じ、半年間を待たずに更新することもある。	
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	基本出席できる人全員が参加し、多角的な面からの話し合いが行えるようにしている。	
	24	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	25	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0	・保育園との連携会議を月に一回行う中で、状況共有を行っている。 ・連携会議以外の場面でも支援内容の共有などを送迎の際、訪問支援時に行っている。	
	26	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	・保護者に同意を得たところで就学先との情報共有を行っている。 ・移行後も訪問支援等で連携している。	
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	・交流先は現在同法人の保育園のみとなる。	・同法人以外の利用児童の円ともう少し連携を取っていく事が必要。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	HUGやＬＩＮＥを活用し、積極的にコミュニケーションをとっている。	
保護者への説明等	29	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	30	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	6	0		
	31	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	32	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・公式ＬＩＮＥなどでも連絡ができるようになっており、手軽に相談できる環境はあると思う。	
	33	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	・前年度より交流の機会を増やした。	
	34	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	35	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	連絡ツールのHUGで発信している。	SNSや定期的な通信等は、現状はない。

	36	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	37	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
非常時等の対応	38	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	HUGを活用しながら、家族などにも周知できるよう対応していく。	
	39	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	40	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・契約時に確認している。	
	41	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・医師の指示所が必要な食物アレルギーの利用は、今の所ない。	
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	43	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	・記録のフォーマットを作り変えることで記録をつけやすいよう工夫している。	・一つひとつの共有は、まだ薄いと感じる。定期的な見直しの必要あり
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	Rasisa			
○保護者評価実施期間	２０２６年　2月　２４日	～	２０２６年　3月　１５日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	23	（回答者数）	21
○従業者評価実施期間	２０２６年　2月　２４日	～	２０２６年　3月　１５日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	２０２６年　5月　２１日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じたアセスメントと支援を行い、保護者・関係機関との密な情報共有を通して、安心して利用できる支援体制を整えている。	日々の支援前後に職員間で子どもの様子や対応方法について共有・振り返りを行い、支援の統一や改善につなげている。また、ICTツール（HUGやLINE等）を活用し、保護者が気軽に相談や、情報共有できる環境づくりを行っている。	支援の質向上のため、職員間での打ち合わせや振り返り時間をより安定的に確保し、情報共有体制やケース検討の充実を図っていく。
2	保護者との信頼関係を大切にし、相談しやすい雰囲気づくりや共感的な支援を行うことで、保護者の不安軽減や、安心感につながっている。	子どもの様子を日々丁寧に観察し、保護者の思いやニーズを確認しながら個別支援計画を作成している。また、面談や日々のやり取りを通して継続的な助言・相談支援を行っている。	保護者同士の交流機会や、家族向けの情報提供機会をさらに充実させ、保護者支援や地域とのつながりを深めていく。
3	保育園・幼稚園・関係機関との連携を積極的に行い、移行支援や訪問支援等も含めた継続的な支援体制を構築している。	定期的な連携会議や送迎時の情報共有、訪問支援等を通して、関係機関との相互理解や支援方針の共有を行っている。	法人内連携に加え、地域の保育・教育・福祉・医療機関等との連携機会を広げながら、子どもが地域の中で安心して生活・参加できる環境づくりを進めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間での情報共有や振り返りは行えているものの、時間帯や業務状況によって打ち合わせ時間の確保が不安定になることがある。	支援準備や記録作成、送迎等の業務が重なることで、職員同士で十分に話し合う時間の確保が難しくなる場面があるため。	朝礼やケース会議等の時間を明確に設定し、継続的な情報共有や支援方針の確認が行える体制づくりを進めていく。
2	地域交流や地域支援については、現在の連携先が限定的であり、地域とのつながりに課題がある。	同法人内での連携は行えている一方、地域の園や関係機関との交流機会が十分とは言えない状況があるため	法人内連携に加え、地域の保育・教育・福祉・医療機関等との連携機会を広げながら、子どもが地域の中で安心して生活・参加できる環境づくりを進めていく。
3	ホームページや通信等による情報発信、安全計画や非常時対応等について、保護者への周知に改善の余地がある。	日々の支援や個別対応を優先する中で、定期的な情報発信や周知方法の整理が十分に行えていないため。	HUGやホームページ等を活用しながら、活動内容や安全管理、研修・訓練等について定期的に発信し、保護者が安心して利用できる情報提供体制を整えていく。